

令和5年度第1回佐世保市地域自立支援協議会 会議要旨

【日 時】 令和5年11月8日（火）18：15～20：20

【場 所】 佐世保市中央保健福祉センター3階ダイケア室

【出席者】

（委員） 久保委員、丸山委員、松本委員、上田委員、浦委員、佐藤委員、大町委員、増田委員、佐々木委員、菅野委員、池田委員、武富委員、鷲峯委員

（事務局） 障がい福祉課：黒崎課長、七種課長補佐、坂井課長補佐、福田課長補佐
沖原係長、羽辺主査、中村主査、徳永主任主事、田中主事

（傍聴者） 4名

【会次第】

1 開会

2 議事

（1）社会福祉施設整備費補助金に係る事業者の選定について

※事業者審査のため、進行内容のみ記載

①事務局から「佐世保市障がい福祉施設整備等整備費補助事業に係る審査について」を説明

②申請事業者によるプレゼンテーション

③委員から申請事業者への質疑

④委員による申請事業者の採点

⑤採点集計

⑥事務局より事業者毎に採点結果を報告

（審議）

「事業者の選定」について承認

議事1については、委員全員一致で承認された。

（2）各専門部会の令和5年度上期事業報告について

資料に基づき、各部会員により報告を行った。

（質疑）

（就労支援部会）

委員

一般就労への実績が少ない現状とあるが、全国的にということか。比較した基準は全国平均なのか。例年より少ない、年々少なくなっているなど、どういう分析なのか。

報告者

福祉サービスから一般就労への実績としての現状である。例年少ない現状と認識しているが、全国平均との比較などについては、確認して次回報告したい。

委員

一般企業が希望している就労者の条件など、どのような調査をしているのか。

報告者

一般就労に際し、企業側として障がいのある方への手厚い支援もできるような環境、人材確保の難しさなどがあるなどの話を伺っている。

委員

事業所に通われている障がいのある方が働ける内容など、事業所が企業とコミュニケーションを図る場を設けるなど、そのような取り組みは行っているのか。

報告者

ジョブコーチや、各事業者による企業への訪問、就職が決定する前に職場体験を行うなど、取組んでいる事業者がほとんどであるが、それでも就職への結びつきが難しい現状である。

委員

企業がどのような人材を必要としているのか、雇用できる就労者の条件や賃金など、企業側に検討していただくよう働きかけを。

(相談支援部会)

委員

質疑無し。

(精神地域支援部会)

委員

行政側にオブザーバー参加となっている課があるが。

事務局

精神障がいをお持ちの方が地域で安心して生活できるよう、医療、福祉、地域の各専門の方々をお呼びして協議しているもので、行政側として保健所長、福祉事務所長が参加している。ご指摘の課については、今後検討する。

委員

資料中、「休日・夜間における精神科救急医療体制・相談体制」とあるが、先ほどの相談支援部会でも基幹相談支援センター設置に向けての意見もあったように、これは、精神障がい者を持つ家族にとって、非常に望んでいる体制である。どのような意見交換、また次につながるものがあったのか。

事務局

部会においても家族会等、地域の方も参加されており、24時間相談体制があると安心できるとの意見をいただいている。

現在、市内で24時間365日相談等に対応できる体制が整備されているとは言い難い状況。部会では医療や訪問介護の立場から、夜間に不穏になった方の実際の対応

などの話を伺ったり、相談支援事業所からの参加もあったことから、相談支援部会と検討していく必要があるとの意見もいただいている。相談支援部会とも連携して検討が行えればと考えている。

委員

基幹相談支援センターについては、長崎県内では設置数が少なく、佐世保市にも設置されていないと伺った。センター設置に向けて積極的に進めていただきたい。

(子ども部会)

委員

部会全般の話になるが、活動報告も大事であるが、各部会における要望等など、この協議会にて発言することも大切であると思う。

事務局

各部会における地域課題等について、この全体会議に諮る必要があるものは、議題として提案していきたい。

議事2については、委員全員一致で承認された。

3 閉会